



# 柘植地域 まちづくりだより 第169号

**発行** 柘植地域まちづくり協議会事務局  
(柘植地区市民センター内)  
 伊賀市柘植町一〇六四七番地  
 〒五一九一四〇二二  
 電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三  
**発行日** 二〇一六(平成二十八年)七月一日(金)

## つけふくしネット設立

健康福祉部会

6月22日(水)夜、市民センターで、伊賀支所長・社会福祉協議会会長他の関係者をお招きし、70余名の参加のもと設立会が開催されました。

**Q なぜ作ったの？**

『地域福祉計画』に基づいています。『計画』には平成30年度までに各まち協・各区に設置するとなっています。(柘植地域は19番目)

**Q 何をやるの？**

住民や関係機関が協働運動し、生活課題やニーズを把握し情報共有を図りながら地域全体での支え合いの仕組みづくりに取り組みます。

**Q 誰がやるの？**

まち協関係者や各区代表者です。  
 (詳細は、事務局にある資料を参照ください。)

日頃より高齢者とかかわっておられる各事業所様にご協力いただき、民生委員児童委員・福祉協力員・いが見守り支援員様に課題ごとにご協力いただきます。組織は少人数ですが、しっかりと「根っこ」を張りますので、地域の皆様が「枝

や葉」になっていただき、大きく成長できればと思います。

設立会後の第2部では、設立記念講演会を実施しました。



講師には、皇學館大学の板井正斉さん(写真)に、『誰もが柘植に住み続けられるまちづくりを目指して』と題してお話しをいただきました。その概要は次の通りです。

つけふくしネットが、①見守りを考える場合になるように、②地域福祉課題を把握する場になるように、と期待をします。

地域での10年後の見守りを考えることは、我が家の10年後を考えるとどうですか。これからは「お互い様」の気持ちと「向こう三軒両隣、助け合いのこころ」を今一度大事にして、みんなで支えあいましょう。



# 家庭ごみの出し方・分別学習会

生活環境部会・女性部会

6月16日(木)午後、生活環境部会と女性部会が合同で「家庭ごみの出し方分別について」の学習会を行いました。(今回で3回目の学習会、20名の参加)

さくらリサイクルセンターの方から施設の現状や今後の処理計画、また『資源ごみ分別ガイドブック』を見ながら、ごみの分別について詳しく説明がありました。そのあと日頃分別について疑問に思っている冷水ボックス、釣り竿、置物、カバン等の分別について聞きました。

生活環境部会と女性部会では、毎月『こ



みニュース』を発行(回覧)しています。ごみの出し方分別について色々と疑問に思っている事がありましたら、ご意見をお寄せ下さい。

(参加者の感想より)

毎月のごみの分別処理、可燃ごみ達成率の話、ごみ分別表に基づいての説明を受けました。

その後、参加者持参の実物を見て、どの分別ごみかを教えていただきました。市民センター玄関にある小型家電リサイクル回収ボックスへ出す資源ごみの分別がよくわかりました。

それにしても、ごみ処理費用が年間一人あたり、16,403円かかっているそうです。ごみは指定袋で出すこと、コンテナに入れる物を入れること、一人一人がごみ排出の減量、分別に気を配って実施することが大事だと感じました。

## 家屋の安全を判断する

自主防災実行委員会

6月18日(土)午後、市民センターで「避難所安全点検要領講習会」を開催、当日は第1部として初動リーダー等60名の参加を頂き、一級建築士で応急危険度判定士の資格を持つ西出章さんと、柘植地区市民センターの建築設計でもお世話になった建築家の滝井利彰さんを講師に



迎え、「三重県避難所マニュアル」に示された「施設安全点検用紙」に基づく点検の要領、ポイントについて過去に携わった被災現場の状況を題材に判りやすく説明をして頂きました。チェック項目に1つでも『危険』や『要注意』の判定が付いたなら、絶対に立ち入ってはならない事等を教わりました。

また、第2部として本年2月に実施した「避難所運営ゲーム(HUG)の振り返り」を実施して、初動期の避難所を開設・運営する際の問題点・対策について各避難所ごとに検討を行い、最後に各トップリーダーが発表して、認識の統一を図りました。



木造住宅の耐震化支援について  
(H28耐震診断事業)



詳しくは、  
伊賀市建設部建築住宅課(43-2330)  
もしくは伊賀支所振興課(45-9119)

# 山里環境を身近に… 現状を共有し将来を考える

6月23日(木)午後、市民センターで24名が参加して地域の山里環境についての学習会を開催しました。

生活環境部会・区長部会



第1部として、布引地域住民自治協議会副会長の番條克治さんから「伊賀の林業の活性化をめざして」と題してお話しをいただき、その後は座談会という形で実状を出し合い交流しました。

最近では住民の山に対する関心も薄くなり、各区での出合作業も減る中で、柘植地域の山里にあるスギ・ヒノキも「もやし林」化していくと思われる箇所が目立ちます。いま手を打っていかねば、将来に悪影響が出るのは必至です。今回の座談会を通して、問題意識とその解決の方向性を共有することができました。休憩後の第2部では、山林を取り巻く

鳥獣害問題や不法投棄の問題など多方面から私たちの身近な山について議論を深めました。

「狩猟」についても、地域として後継者を養成する必要を共通認識することができました。



## 第2回男の料理教室開催

健康の駅長

6月11日(土)午前10時から、いがまち保健福祉センターで、2回目の男の料理教室を開催しました。今回は17名の参加者が腕を奮い、野菜たっぷり塩分控えめのメニューで、デザートを含んで4品作りしました。参加者の皆さんは手際もよく、和気あいあいと楽しく料理をしました。

「普段、家で食べている料理より薄味だけれど、健康に良い食事なんですな」「これからは、少しでも塩分を減らして作るうと思えます」といった感想が多く、大いに盛り上がった試食会になりました。

次回は、8月6日(土)です。料理を作ってみたい方の参加をお待ちしています。

## また一步、行政とともに 市営駐車場の案内看板設置

柘植駅を核とした公共交通のあり方検討委員会

当委員会では、公共交通について伊賀市当局と多方面の内容で協議しています。

その中で、伊賀市HPにある市営駐車場の地図などを話題にすることから、東側から来る人に駐車場の入口が分かりにくいという意見を伝えました。その結果、写真のような案内板を設置してもらうことができました。



これからもみなさんが気づいたことがありましたら、検討委員会(月に約1回開催)へ届けていただきますようお願いいたします。

今後、乗り換え案内表示も多言語化される予定です。

# いがまちのまとめ、取り戻そう

いがまち3地域区長集会  
6月17日(金)午後、西柘植地区市民センターでいがまち3地域の区長が集まる会が持たれました。(今年で2年目)

伊賀支所から支所長をはじめ職員の方々にも参加していただき、各種情報提供をしていただきました。特に「公共施設の最適化計画」に基づく伊賀支所のあり方については、私たちがいがまち3地域にとって重要な課題ですが、なかなか進んでいないのが現状のようです。

各まち協の取組みも情報交換して、各地域の様子を交流しました。



旧伊賀町としてまとまっていた「いがまち地域」も、伊賀市合併以後、お互いの交流が減少し、個別化してしまっています。今後3地域が交流を深めていくことを確認しあいましょう。

# 保育園跡地を有効活用するために

跡地利活用検討委員会  
写真は、旧大山田村の阿波地域と旧阿山町の丸柱地域を検討委員会として視察したときの様子です。

現在、委員会では跡地利活用の可能性を列挙し、その内容を吟味しているところです。

検討会での議論の途中ではありませんが、多くの住民の皆さんに状況を理解していただき、さらに議論を深めるため、7月16日(土)の夜7時30分より、説明会懇談会を実施します。

(別紙回覧文書もご覧ください。)



→丸柱の役員さん方との交流

↑阿波地域にある農家レストラン「あわたんぼう」の視察

# 黒豆の栽培日誌

特産品創出実行委員会  
6月18日(土)午前、



全体での中耕作業を実施しました。当日は20名が集まり、JA指導員の説明指導を受けながら、圃場の

除草を中心に実施しました。

## お知らせ

実行委員会では、毎年末に、黒豆をお分けしていますが、その予約をとらせていただきます。収入を安定させるためにご協力をよろしくお願ひします。

特産品創出実行委員会の黒豆栽培を応援して下さる方、事前購入予約をよろしくお願ひします。(後日配布資料をご覧ください。)

## ◎事務局だより◎

▼6月上旬、壬生野地域の西之澤にある「ノハナシヨウブ群落」(県天然記念物)を見学に行ってきました。▼旧伊賀町3地域にはいろんな名所があります。そうした共有財産を3地域まち協が協力して大切にしたいものです。(西田方計)

